

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17	・ケアプラン立案について、内部の職員のみで立案しており、家族等の意見やアイデアが十分に反映されていない。	・ケアプラン立案時の担当者会議に家族等にも出席していただき、情報交換を通じて意見やアイデアをケアプランに反映できる。	①家族等に担当者会議へ出席していただけるよう日程調整を行い、出席を促す。 ②情報共有のため、必要に応じて日々のケース記録等開示する。	R4.4.1 ～ R5.3.31
2	34	・服薬の支援について、利用者一人ひとりの服薬介助の方法が介護者により異なる場合があり、ケアの統一が図られていない。	・利用者一人ひとりに応じた介助方法(手順書)を整備することでケアの統一を図り、確実に服薬できる。	①利用者一人ひとりに応じた服薬介助の手順書(マニュアル)を作成し、実践する。(※適宜修正) ②薬についての勉強会(内部研修)を実施する。 ③薬剤師との連携を密にし、服薬(介助方法等)についての助言やアドバイスを得る。	R4.4.1 ～ R5.3.31
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。